

「小松島(ここ)で、そだつ。」

～こどもたちに学ぶ楽しさを。夢見るよさこびを。人に頼る勇気を。～

北沢 善一 さん (サイエンスクリエイター&サイエンスパフォーマー (有限会社かがくの会社))

巨大空気砲や手投げロケットなど本格的な実験を通して、科学の世界を楽しく夢中になって学びました。

サイエンスショーでは、目の前で現象を見せ、解説は言葉ではなく実験で行うようにしています。科学実験を、おとなしく見てもらうのではなく、体験して、どんどん突っ込んでもらってその受け答えの中で答えを見つけてもらう。今回の学習も、全て空気の利用した科学的に証明できる一連の実験にしています。

こどもの頃に色々な体験をする中で、それが科学的に証明されたときに、「こういうことだったんだ」という発見とくっついてどんどん面白くなってくと、科学の力はぐんと伸びます。こどもたちに対して、つっこみどころを満載にして、後は自分たちで解決したいと思えるように、好奇心をどんどん与えられる機会になればと思います。



う～み さん (シンガーソングライター)

コンサートでは、実体験に基づくトークと思いのこもった歌を披露され、命の大切さを訴えられました。

コロナ禍を経験し、あらゆる世代の方が生きづらさを感じる世界になったように思います。自分自身や感じたことを素直に受け止める練習が必要です。私は幼稚園児でも大人でも講演内容はかえません。私の話を聞いて感じたことを大切にしてもらいたいです。受け入れられないかもと抱え込むより、こうしたらよかったかな?と後悔することのないように、身近な人と話してみましょう。自分を悪者のように言うのはやめましょう。抱え込まず、相談しましょう。今、隣にいる大切な人に想いを伝えましょう。



笑ってみ亭じゅげむ さん (一般社団法人笑ってMe 代表)

笑いの授業では、人を笑顔にする笑いを学び、「ええやん!」と、お互いを褒め、認め合いました。

簡単にできてしまう「人の容姿などを話題にしたり、揶揄したりして生まれる笑い」は、相手を傷つける言葉の暴力になる場合があります。人を幸せにする笑いは、きちんと考えないと生まれません。相手がどう言われると嬉しいかを自分で考えて表現する。「これって意外と面白いんだ」と日常を面白がる力を身につけること。そして、「私の個性ってここだ!自分の個性、ええやん!」と、自分にええやん!を見つけられる人間になりましょう。笑いを考えるとき、「それって良い笑いなんだっけ?」と問いかけ、「ええやん!」で、自分や他の人のミスや悪い空気も良い笑いに換えていきましょう!



昨年に引き続き、外部人材活用事業にてご講演いただいた講師の方々.....

問 II お問い合わせ先

演劇・マジック
おとぎと魔法の劇場さん



パフォーマー
ゼロコさん



2025年(令和7年)3月5日
広報こまつま

小松島市役所 代表 ☎ 32・2111 〒 773-8501 徳島県小松島市横須町1番1号
電話番号に市外局番の記載がない場合、市外局番は「0885」です。